

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1011 民生委員活動経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	01	社会福祉費
基本 施策	07 老後の生活や低所得者の自立を支える	目	02	民生事業活動費
		細目	186	民生事業活動経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	02	民生委員活動経費
担当部課	コード	653000		担当者 氏名
	名称	阿山支所 住民福祉課		
		連絡先	43 - 332 (内線)	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	民生委員児童委員 民生委員児童委員に相談したい地域住民
成果(どうする)	民生児童委員の活動を支援することにより、地域のニーズに応える。
根拠法令・要綱等	民生委員法
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
H21 事業 内容	阿山地区民生委員児童委員協議会役員会・委員会 月1回開催。 阿山地区民生委員児童委員協議会部会 年3回開催。 三重県連合会、伊賀市連合会、三重県社会福祉協議会、伊賀市社会福祉協議会の研修、講座への参加
社会情勢 の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
定例会、部会の開催数	目標	回	15	15	15	15
	実績		15	15		
研修会への参加数	目標	回	13	13	13	13
	実績		12	12		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
民生委員への相談件数	目標		件	50	50	70	80
	実績			34	39		
	目標						
	実績						

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	26	26	22	22
Aの 財源 内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	0	0	
一般財源	26	26	22	22
事業投入人件費(B)	0.3人 2,160	0.3人 2,160	0.3人 2,160	0.3人 2,160
フルコスト(A)+(B)	2,186	2,186	2,182	2,182

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	民生児童委員の活動、研修への支援は必要であり、継続する必要がある。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 定例会、研修会、その他奉仕活動等の出席率はほぼ達成できている

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	福田真由美
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 住民に身近な存在の民生委員・児童委員は、地域福祉の充実のため日々活動している。今後も支援が必要である。
現時点における 課題、その他	本年12月1日民生委員・児童委員が改選され、半数以上が新任となる。適任者が選任されているが、今後研修等必要である。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	改選後、研修会の開催がある。阿山支部の委員会等にも積極的に参加し、自己研鑽に励む。